

JIS H 8643 溶融亜鉛アルミニウム合金めっきが制定されました。

弊社は認証機関の登録ができていない理由から当 JIS の認証工場にはなっておりません。従いまして、弊社の溶融亜鉛アルミニウム合金めっきの「タナカ-AZ」は JIS マークの付与ができません。ただし、受渡当事者間での協定で JIS H 8643 準拠での施工は可能となりますので、弊社営業部にご相談下さい。

めっきの種類は、下表の通り平均膜厚で規定する 1 種及び付着量で規定する 2 種に区分され、規格値はそれぞれ 3 種類あります。

規格の種類と膜厚および付着量

種類	種類	種類	規格値		適用例（参考）
1 種	25 A	HZA 25 A	平均膜厚 25 μm 以上	最小膜厚 18 μm 以上	直径 12 mm 以上のボルト、ナット、 厚さ 2.3 mm を超える座金など
	36 A	HZA 36 A	平均膜厚 36 μm 以上	最小膜厚 25 μm 以上	厚さ 1.6 mm 以上の鋼材、鋼製品な ど
	50 A	HZA 50 A	平均膜厚 50 μm 以上	最小膜厚 36 μm 以上	厚さ 6.0 mm 以上の鋼材、鋼製品、 鋳鍛造品など
2 種	18 B	HZA 18 B	180g/m ² 以上		直径 12 mm 以上のボルト、ナット、 厚さ 2.3 mm を超える座金など
	25 B	HZA 25 B	250g/m ² 以上		厚さ 1.6 mm 以上の鋼材、鋼製品な ど
	35 B	HZA 35 B	350g/m ² 以上		厚さ 6.0 mm 以上の鋼材、鋼製品、 鋳鍛造品など
1 種は、平均膜厚で規定し、磁力式の膜厚計によって試験ができるものに適用する 2 種は、付着量で規定し、磁力式の膜厚計によって試験ができないため、JIS H 0401 の間接 法によって試験を行うものに適用する。					